

我が東京鉄工組合は斯る不祥事が再び勃発せざるがため前回の事件の時、十移を会社より解職せしめる事を勧告し、其後に於ては幾回も之を交還し工場平和の確立上努力を奉つたのであるが会社は嚴正の態度を以て之を以て單に資本家の権力を振り廻し、社会進化を悪視し横車を押し通す人とするのである。

今この政府は労働組合を公認し但合を合理的な交達をせしめんとするが労働組合は其意を主張し、然るに何等も日本共産黨の社会党に此天下の大勢に逆行して非を正すの知らず理を悟るを得ず凡ゆる陋策を弄して我等を迫害せんとし、常々不祥事を勃発せしめて何等の耻じかるのである。

吾等は茲に英相を代表して全市民請願の公認を批判し訴へて御同情を乞ふものである。

被解雇者氏名

豊田 勝 齋
 小野 茂
 川崎 常 富
 柳川 正 行

通知

真空管工場ハ都合ニ依リ明八日ヨリ十日迄三日間
 臨時休業ス

右休業者ハ一切ニ場内ニ入ルコトヲ謝絶ス

追テ右休業中ニ賃入常備給(歩増)付マシテ支給ス

右通知ス

大正十五年三月七号 日本無線電信株式会社